

年間授業計画 新様式例													
都立中野工科高等学校令和7年度（1学年用）教科 芸術													
科目 書道Ⅰ													
教科：芸術		科目：書道Ⅰ		単位数：2		単位							
対象学年組：第1学年		1組～4組											
教科担当者：（1・2・3・4組：山村）													
使用教科書：（教育出版 書道Ⅰ）													
教科 芸術		の目標：											
【知識及び技能】		芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。											
【思考力、判断力、表現力等】		創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。											
【学びに向かう力、人間性等】		生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。											
科目 書道Ⅰ		の目標：											
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】									
・書の実現方法や形式、多様性等について幅広く理解するとともに書写能力の向上を図り、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 ・筆の基本的な使い方を習得する。		・書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、書的美を味わい伝えたりすることができるようにする。 ・感受した書の実しさ・表現の特徴などをできるだけ言語化し、自らの表現に反映させること。		・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 ・自らの学習をできるだけ客観的に評価し、自ら修正する力を養う。									
単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		表現 漢 漢 仮		鑑賞		評価規準		知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	1. 書道概説及び基本点画について 【知識及び技能】 文房四宝の基礎的な知識や基本的な用筆法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 執筆の際の合理的な姿勢や、中学書写段階までの基本用筆について復習し、考え、意識し実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 以上習得すべき点について、自らの習得度合いについて積極的に考え、修正しながら実践する。	・文房四宝の基礎的な知識や手入れの仕方 ・中学校書写段階までの基礎的な用筆の復習 ・用筆の際の合理的な姿勢		○				1. 文房四宝の基礎的な知識や基本的な用筆法を習得している。 2. 執筆の際の合理的な姿勢や、自身の書いたものについて自ら考え、評価・判断できている。 3. 授業内での取り組みを振り返りながら、各自の修正すべき点に気づき、多少なりとも修正できている。	○	○	○	5	
	2. 唐代の楷書 【知識及び技能】 唐の四大家それぞれの書風の違いについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 四大家の書の具体的な違いについて言語化でき、その違いを、多少は毛筆で表現できるよう努める。 【学びに向かう力、人間性等】 以上の点について、自らの習得度合いについての確に評価し、修正しながら学習できる。	・「書風」とは何か ・初唐の三大家の書を比較鑑賞 ・書写との筆遣いの違いを知る ・唐の四大家の書の用筆・字形構成の違い		○		○		1. 唐の四大家の書風の違いについて理解できた。 2. 四大家の書の具体的な違いについてできる限り言語化し、毛筆で表現できるよう努力した。 3. 授業内での取り組みを振り返りながら、各自の修正すべき点に気づき、多少なりとも修正できている。	○	○	○		
	3. 北魏の楷書 【知識及び技能】 唐代の書との書風の違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 唐代の書との具体的な違いについて言語化でき、且つ毛筆で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 以上の点について、自らの習得度合いについての確に評価し、修正しながら学習できる。	・唐の四大家以外の書を鑑賞・臨書 ・多様な筆遣いを身につける。		○		○		1. 唐代の書との書風の違いを理解できた。 2. 唐代の書との具体的な違いについてできるだけ言語化し、毛筆で表現できるよう努力した。 3. 授業内での取り組みを振り返りながら、各自の修正すべき点に気づき、多少なりとも修正できている。	○	○	○	15	
	4. 楷書の創作 【知識及び技能】 学習した楷書の書風を生かして書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 学習した楷書の書風の違いを思い出し、用筆を工夫して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 書きたい言葉や、どのような書風で表現するかを考えられる。	・学習した楷書の書風・筆遣いの復習 ・書きたい文字、言葉、書風の構想と作品制作		○				1. 学習した楷書の書風、筆遣いを生かして書くことができた。 2. 学習した楷書の書風の違いを思い出し、用筆を工夫して表現できた。 3. 書きたい文字や言葉、どのような書風で表現したいかを考えられた。	○	○	○	5	
2 学 期	5. 行書の学習・蘭亭序 【知識及び技能】 蘭亭序の鑑賞と臨書を通して行書の基本的な表現技法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 字形・用筆の双方から行書の特徴について考え、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 以上の点について、自らの習得度合いについての確に評価し、修正しながら学習できる。	・蘭亭序の鑑賞と臨書 ・字形・用筆の双方から行書の特徴について考え、理解する。		○		○		1. 字形・用筆の双方から行書の特徴について理解できた。 2. 蘭亭序の鑑賞と臨書を通して行書の基本的な表現技法を習得できた。 3. 授業内での取り組みを振り返りながら、各自の修正すべき点に気づき、多少なりとも修正できている。	○	○	○	20	
	6. 行書の学習のまとめ・創作・鑑賞 【知識及び技能】 学習した行書の特徴を生かして書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 どのような言葉、どのような表現で書きたいかを考え、表現することができる。また他者の作品も鑑賞し、言葉や表現方法について考え言語化する。 【学習に向かう力、人間性等】 以上の点について、自らの習得度合いについての確に評価し、修正しながら学習できる。	・行書の特徴の復習 ・言葉遣いと構想及び行書による作品制作		○		○		1. 学習した行書の書風を生かして書くことができた。 2. どんな言葉を、どのような表現で書きたいかを考え、表現することができた。また、他者の作品を鑑賞し、表現について考え、述べることもできた。 3. 授業内での取り組みを振り返りながら、各自の修正すべき点に気づき、多少なりとも修正できている。	○	○	○	5	
	7. 仮名の成立と単体の練習 【知識及び技能】 仮名の起源について知り、字形や用筆について理解する。仮名の基本的な用筆を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の字源を知り、仮名の字形をよりよく理解する。	・仮名の起源及び字形や用筆 ・仮名に用いる道具の手入れ方法 ・仮名の字源を意識することによ		○				1. 仮名の起源について知り、字形や用筆について理解できた。仮名の基本的な用筆を習得できた。 2. 仮名の字源を知り、仮名の字形をよりよく理解して書くことができた。 3. 授業内での取り組みを振り返りながら、各自の修正	○	○	○		

[illegible]